

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	81	関西本線電化促進経費	01	01	一般会計
			02	02	総務費
基本施策	49	広域的な道路・交通環境を整備する	01	01	総務管理費
			06	06	企画費
担当部課名		企画振興部企画調整課	102	102	地域振興経費
作成者氏名	山下 章光	連絡先	内線2115	16	関西本線電化促進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	JR関西本線複線・電化に向けた調査・研究及び要望と利用啓発	直通列車の運行 電化・複線化 交流人口の増加を促進する。				
本年度事業内容	JR関西本線の電化・促進について、地域における機運を盛り上げるとともに、沿線自治体などが一体となり、国、県、鉄道事業者へ整備推進に向けた運動を展開して、複線電化を実現する。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.4	0.4	0.4
人件費合計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,041	1,301	1,293
負担金	376	513	513
積立金	500	500	500
その他	165	288	280
合計(A+B)	3,921	4,181	4,173
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	626	500	500
一般財源	3,295	3,681	3,673
上記①～③に関する特記事項 H17年度は、目 06企画費 細 目102地域振興経費 細々目06鉄道網整備促進経費 として計上			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
要望活動など	回	3	4	4			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
関係機関への要望などの回数	粘り強い活動がその実現を図る手立てであり、国、県、旅客鉄道会社への要望活動などの実施回数を指標とする。	回	3 目標 ()	4	4
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

国鉄の分割民営化後は採算性が重視され、JR移行後は、関西線における電化区間の延長は行われていない。また、亀山で西日本旅客鉄道と東海旅客鉄道が分断されたため、直通列車の廃止、乗換利便が低下した。電化と併せて、式年遷宮や奈良1300年祭を契機とした直通列車復活要望を協力に進める必要がある。また、伊賀上野駅や佐那具駅の開業110周年に結びつけた列車などを企画して、沿線住民に関西線に対する意識の向上が望まれる。

評価	必要性	4	即効性は望めなくとも、「継続は力」の部類に位置する業務であり、事業の必要性は高い。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	2		